新規反応場としての微細気泡の工学的体系と活用法、微細気泡を利用した二酸化炭素の固定化、 工場排水処理、土壌改良、医療器具・野菜・ペット洗浄などへの応用例の紹介を中心とした 講演会・見学会・技術交流会を新たに企画しました。マイクロ・ナノバブル技術にご興味・ご関心 のある研究者及び現場技術者は奮ってご参加下さい。

第8回「微細気泡の応用技術」講演会

http://www2.scej.org/cre/rf/index.html

・主 催:化学工学会反応工学部会「反応場の工学 分科会」

・協 賛:日本海水学会、技術士協同組合、NPO日本技術経営責任者協議会、日本産業洗浄協議会 JSTイノベーションサテライト茨城、(社)日本技術士会上下水道部会

· 日 時:2011年 6月24日(金)13:30~17:10(受付13:00~)

・場 所:千葉工業大学 津田沼キャンパス 6号棟2階 625 教室

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1、TEL 047-478-0415 (尾上研究室)

<交通> http://www.it-chiba.ac.jp/index.html
JR総武線「津田沼」駅から徒歩3分

・プログラム:

1) 講演会: [共通テーマ;次世代の水環境を創る]

13:30-13:40 開会挨拶と連絡事項

千葉工業大学工学部生命環境科学科 教授 尾上 薫

13:40-14:30 「マイクロ・ナノバブルの特性と生体への影響」

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 大下 誠一

14:30-15:15 「マイクロ・ナノバブルを利用した排水処理技術」

前川製作所・技術研究所 副島 孝一

15:30-16:20 「閉鎖水路のマイクロ・ナノバブルによる浄化」

(独) 水資源機構 旧吉野川河口堰管理所 主幹 岩松 裕二

16:20-17:10 「貯水池の深層曝気による水質浄化」

神戸大学工学部市民工学科 教授 道奥 康治

- 2)技術交流会(17:20-18:20)
- ・参加費:主催・協賛団体の個人正会員:4,000円、学生会員:1,000円、その他:6,000円、 技術交流会参加者は上記金額にプラス2,000円(学生はプラス1,000円) (当日会場にて徴収致します。)
- ・申込み方法および申込み先:参加ご希望の方は、(1)参加者氏名、(2)所属と職位、 (3)所属する主催・協賛団体名もしくは非会員の場合はその旨、(4)交流会参加 希望の有無を明記の上、電子メールにて下記の松本宛にお申し込み下さい。

〒275-0016 習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学工学部生命環境科学科 尾上 薫 (連絡窓口) 千葉工業大学工学部 松本 真和

Tel: 047-478-0415, E-mail: masakazu.matsumoto@it-chiba.ac.jp